

2024年7月3日

東芝テック株式会社

東芝データ株式会社

電子レシートサービス「スマートレシート[®]」会員数 200 万人を突破！
「スマートレシートの輪」が拡大中、1万7,000店舗以上で稼働



東芝テック株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：錦織弘信、以下「東芝テック」）と東芝データ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：北川浩昭、以下「東芝データ」）は、東芝テックが開発、運営し、東芝データが運営を支援している電子レシートサービス「スマートレシート[®]」の会員数が 2024 年 7 月 1 日に 200 万人を突破したことをお知らせします。

「スマートレシート[®]」は、会計時に通常は紙で提供される購入商品の明細レシートを電子化し、電子レシートセンターでデータとして管理、提供するサービスです。ユーザーはスマートフォンからいつでも購入履歴の確認・管理ができ、買い物における利便性の向上につながるるとともに、加盟店舗では紙レシートの発行コストや環境負荷を低減することが可能です。現在全国 1 万 7,000 店舗以上で稼働し、その他自治体や企業、団体と連携することで輪を広げています。

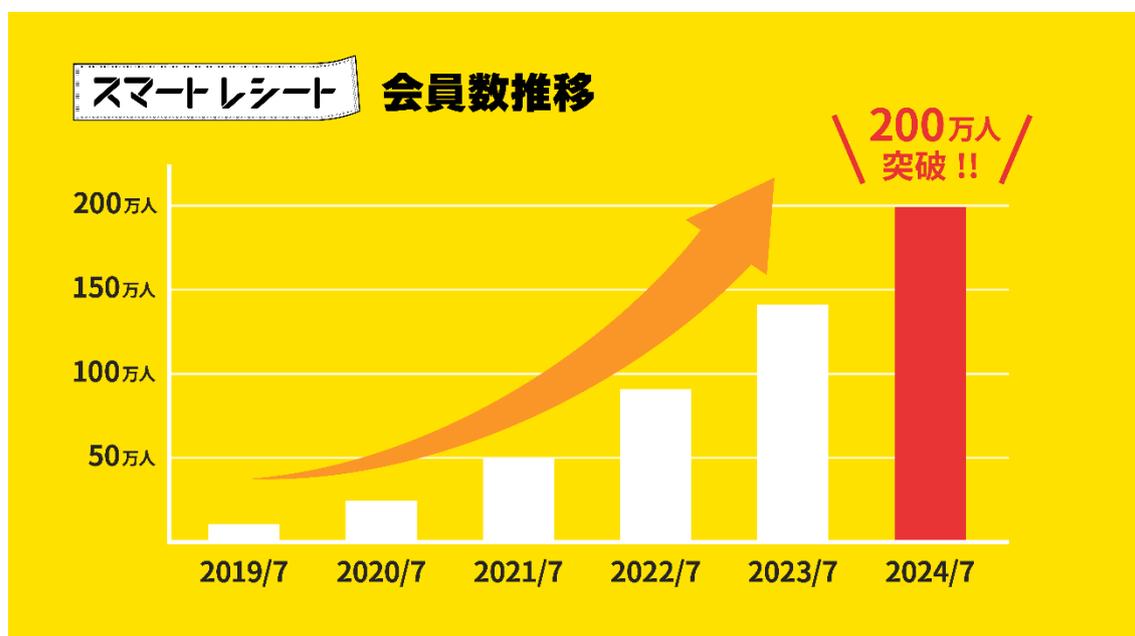
「スマートレシート[®]」は、2014 年にサービスを提供開始して以降、加盟店舗数やユーザー数を獲得しつつ、2018 年 2 月には経済産業省主体で電子レシートの標準仕様の検証実験を行いました。また、北海道から沖縄にいたる全国の自治体と連携をするなど、小売業者や地域、パートナー企業と密に連携

し、電子レシートサービスの社会インフラとしての活用や購買データの利活用を通じて社会課題の解決策を模索し、新たな価値やサービスの提供を行っています。

また、プロモーション機能の提供により、リアルタイムな購買データを活用した小売店や消費財メーカーの広告・販促・マーケティング活用・効果検証ツールとしての利用も増加しています。さらに、ヘルスケアや料理・レシピ、家計簿アプリなど生活者向けの外部サービスと連携することで、ユーザーの利便性向上や生活習慣の改善、フードロス削減など、社会課題の解決に貢献する取り組みをパートナー企業と積極的に取り組んでいます。

これまで「スマートレシート[®]」により発行された電子レシートの枚数は延べ1億6,800万枚にのぼり、同枚数の紙レシートを削減しています。この枚数に紙レシート1枚の平均の長さ（16cm）を掛けると、紙レシート削減の全長は約26,880kmに及びます。近年「スマートレシート[®]」の加盟店と会員数が急拡大していることから、今後紙レシートの飛躍的な削減が見込まれます。

東芝テックと東芝データは、今後も「スマートレシート[®]」およびデータの利活用を推進することにより、小売業者や生活者に対して価値を提供していくとともに、全国各地の「スマートレシートの輪」を拡大し、パートナーとともに地球環境への貢献、地域連携強化、地方創生・社会課題の解決を目指してまいります。



<電子レシートサービス「スマートレシート[®]」概要>

東芝テックが開発、運営し、東芝データが運営を支援している電子レシートサービス「スマートレシート[®]」

は、会計時に通常は紙で提供される購入商品の明細レシートを電子化し、電子レシートセンターでデータとして管理、提供するサービスです。お客様の手元に紙のレシートを残さなくてもスマートフォンで購入履歴をいつでも確認することができ、お客様の買い物における利便性の向上につながるとともに、紙レシートの発行コストや環境負荷を減らすことができます。

公式サイト：<https://www.smartreceipt.jp/>

事例紹介ページ：<https://www.toshibatec.co.jp/products/pos/smartreceipt/case/>

*「スマートレシート[®]」は東芝テック株式会社の登録商標です。

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

東芝テック株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

TEL : 03-6830-9151

東芝データ株式会社 データ・ビジネス推進部 広報担当

TEL : 03-3457-2741 / E-mail : Hdq-info-tdc@ml.toshiba.co.jp